

基本戦略(3つの勝ち残り戦略)

経営の基本戦略として「効率化戦略」「アライアンス戦略」「成長戦略(3つの独自戦略)」を推進してまいります。

効率化戦略

合併シナジーの実現・ローコスト体制の強化

アライアンス戦略

系列・グループにとらわれない自由な独自のビジネスネットワークの構築
高品質な提携ネットワークを活用した、優れた商品・サービスの導入

成長戦略(3つの独自戦略)

1 アジアチャイナ本部 ~アジア・チャイナビジネスのサポート力強化

提携ネットワーク強化、及びアジア通貨決済やクロスボーダーローン等による地元企業の海外進出や貿易取引のサポート、自治体・商工会議所との連携によるセミナー開催や、海外ミッション、海外企業との商談会等、情報・サービスの提供に努めてまいります。

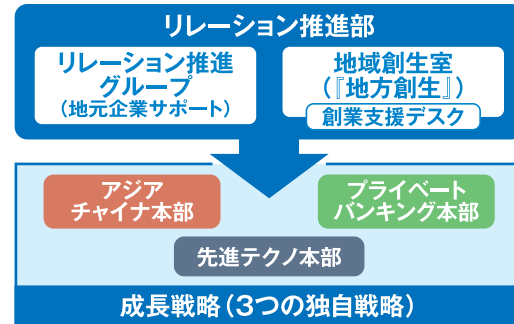
2 先進テクノ本部 ~産学官連携推進と地元企業の技術サポート

国・自治体・大学・公的研究(支援)機関等との緊密なネットワークを活用・拡充し、産学官連携を推進しながら、助成金制度や技術マッチング等を通じて、先進的技術を持つ成長企業の支援、新産業創出に貢献してまいります。

3 プライベートバンキング本部 ~プライベートバンキング業務の推進

経験豊富な「プライベートバンカー」を設置し、「プロが」「中長期的に」「幅広く」「オーダーメイドで」、様々なニーズにお応えしてまいります。

成長戦略(3つの独自戦略)を更に高めるため、『リレーション推進部』では3本部(アジアチャイナ本部、先進テクノ本部、プライベートバンキング本部)をはじめ各本部と連携し、地元企業のさまざまなニーズや課題の解決をお手伝いすることで、地域創生、地域活性化、地域との共存共栄に努めてまいります。



長期経営計画 ~2020年度に向けて

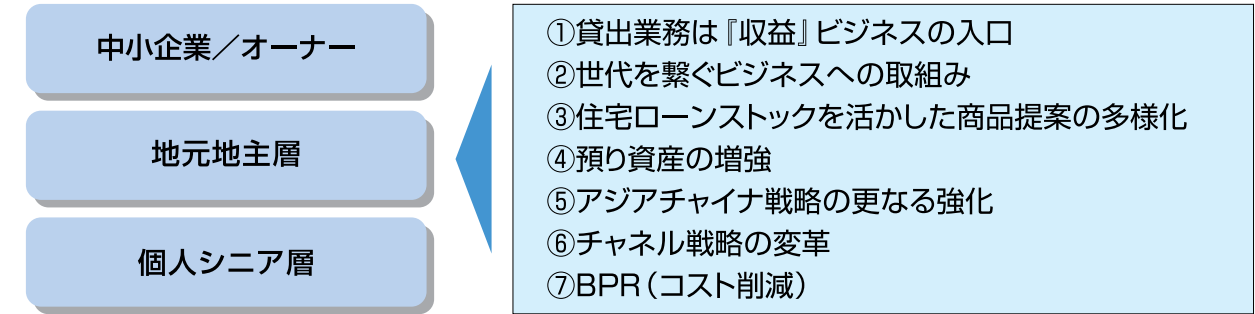
目指すべき姿は— “関西No.1のリレーションシップ地域金融グループ”
~地域の皆さまからのご支持No.1~

従来からの『基本戦略』『グループ中期計画』は継続させるとともに、将来の環境変化を踏まえた、持続可能な収益モデルを付加してまいります。

●重点戦略



●当行が目指す[新たな収益モデル]



●2020年度の目指すべき経営指標

池田泉州ホールディングス(連結)	2014年度 (実績)	2015年度 【中期経営計画】		2020年度 【長期経営計画】
			(予想)	
経常利益	213億円	185億円以上	220億円	250億円以上
税金等調整前当期純利益	228億円	185億円以上	—	250億円以上
当期純利益※	175億円	160億円以上	180億円	165億円以上
自己資本比率	10.09%	10%程度	10%半ば	10%程度

池田泉州銀行(単体)	2014年度 (実績)	2015年度 【中期経営計画】		2020年度 【長期経営計画】
			(予想)	
コア業務純益	179億円	210億円以上	210億円	270億円以上
総資産	5兆5,010億円	5兆5,000億円以上	—	6兆円以上
コア業純ROA(与信コスト控除後)	0.31%	0.3%台半ば	—	0.4%台半ば
コアOHR	71.73%	60%台	—	60%台前半
自己資本比率	9.27%	10%程度	10%程度	10%程度

※2015年度より「親会社株主に帰属する当期純利益」

グループ中期計画

地域貢献を 実践するための	高品質な商品 サービス ネットワーク	地域貢献を 実践するための	収益力強化	SIHDグループの	社会的責任 (CSR)
強固な「地域リレーション」		2015年度(計画)		地域の皆さまに愛され、最も信頼される金融グループ	
オリジナルな「グループ機能」		SIHD(連結)	経常利益 185億円以上 当期純利益※ 160億円以上	お客さま 金融仲介機能の発揮	
多彩な「アライアンス」		銀行(単体)	コア業務純益 210億円以上 経常利益 165億円以上 当期純利益 150億円以上 コアOHR 60%台 自己資本比率 10%程度	地域社会 地域への貢献 株主・投資家 企業価値の向上 従業員 仕事満足度の向上	

※親会社株主に帰属する当期純利益